

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	島根県	事業実施主体	島根県、松江市	地域再生計画名	島根半島東部地域再生計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	松江市管理課長、松江市農林基盤整備課長、松江県土整備事務所農林工務部長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	アクセス改善 ・市道大井朝酌線 ・市道才軽尾線	17分 65分	H26	16分 -	H29	17分 -	16分 64分	H31	△	一般交通を通過させながら拡幅部の工事を先行させる暫定的な施工をする必要があり、現状は整備予定より遅れている。
	指標2	林業の振興 ・森林整備実施面積 ・間伐材等原木搬出量	51ha 1,000t	H26	53ha 2,000t	H29	57ha 3,791t	56ha 3,000t	H31	○	市道整備により木質バイオマス発電所へのアクセスが向上し、間伐等の森林整備が促進され森林整備実施面積は目標値を達成できた。また、間伐材等の原木搬出量も目標値を上回った。
	指標3	集落間のアクセス改善 ・雲津地区から軽尾地区	16分	H26	-	-	-	8分	H31	-	(市道才軽尾線の改良、林道美保関線の開設完了後に目標達成となるので、中間評価はなし)
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	-									
	指標2	-									
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度 (H29)	最終実績 見込み						
	特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（改築）	1.86km	0.49km (一部暫定)	1.86km	市中心部・病院への移動時間の短縮等アクセスが改善され住環境の整備、バイオマス発電所へのアクセスの向上により木材の有効利用・木質バイオマスの促進が図られ、今後も事業を進める必要がある。					
		林道整備事業（開設）	2.94km	0.7km (一部暫定)	1.98km	・林道美保関線・北山線の利用区域には469haの人工林があり、林道整備により「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業の実現に向けた基盤改善が図られること、また林道美保関線を整備することにより災害時に孤立する恐れのある集落間（雲津地区、軽尾地区）を結び、住環境を改善するとともに森林資源の有効な活用を図るため引き続き事業実施を行いたい。					
	その他の事業	市産木材活用事業	地域材供給システムによる市産材活用拡大のため、林業・木材産業の組織化や施設整備等を進める。			木材生産量の増に伴い、今後、本事業のさらなる活用が見込まれる。引き続き川上から川下までの取組を支援し、地域の林業振興を図る。					
森林整備事業		森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図り、利用間伐等を積極的に行うことにより地域住民の所得向上を図る。			林道整備による路網整備を進めることにより、木材生産や更なる森林整備実施面積の増加を促進し、林業振興に努めたい。						
社会資本整備総合交付金事業、防災安全交付金事業		主要地方道路松江鹿島線沿線地域の産業・経済・地域住民の生活安定のため、道路拡幅、歩道の整備、避難路及び補給路として機能的な幹線道路の改良を進める。			地域生活に密着した市道、通学路等の歩道整備、防災・避難道路としての機能を高め、住民生活の安心・安全な市道整備事業を進める必要がある。						
計画外で独自に実施した事業	林業専用道整備事業	林業専用道（滑線）の開設			松江市が事業主体となり、H26着手、H32完成予定で、林業専用道L=1,375mを開設中。完成により当該地区の森林整備量、木材生産量の増加が見込まれる。						
④評価方法	第三者（地元企業、林業事業者等）を構成員に加えた評価委員会を設置し、評価を行う										
⑤中間評価の公表方法	松江市政策部ホームページ掲載による。										
⑥計画全体の総合評価	・本地域再生計画による市道改築により、木質バイオマス発電所施設へのアクセスが向上し、併せて林業振興に係る実績も最終目標年度を上回った。最終年度には道整備の完了に伴い目標以上の実績が見込まれる。										
⑦今後の方針等	・本地域再生計画においては、市道改築に若干の遅れがあるものの、概ね計画通り整備が進んでいる。本計画に沿った市道改築、林道開設が完了することで本地域の交通の利便性・木材生産量が向上し、地域再生に資する効果の発現が見込まれるため、引き続き計画に沿って事業を推進していきたい。										